

「消化器疾患・乳腺疾患における背景因子・治療効果・予後の解析」 研究に対するご協力をお願い

私共はこれまで、消化器・乳腺などの疾患に対して、手術、局所療法（ラジオ波焼灼術等）、動脈塞栓術、放射線治療（含む定位放射線）、動注化学療法、全身化学療法、分子標的薬、免疫療法など様々な治療を行ってまいりました。

これらの治療法は、患者様の病気の種類、進行状態（病巣の数、大きさ、分布、転移の有無など）、全身状態や合併症などに基づいて、一般に広く適用されている疾患毎の治療ガイドラインに沿って決定をしております。

しかし、年月の経過と共に治療成績は絶えず向上させるべきものであり、そのためには今までに行ってきた治療法について評価を続けなければなりません。

そこで、私共は治療を行わせて頂いた患者様のカルテを閲覧させて頂き、必要があれば患者様もしくはご家族に予後の調査をさせていただくことにより「疾患毎の背景因子・治療効果・予後等」を解析し、その結果を基によりよい治療を目指していこうと考えております。

本研究の内容は患者様のカルテや手術記録（ビデオを含む）を閲覧させて頂き、必要な項目のみを抽出して上に挙げたような解析に使用させて頂くことであります。

本研究により、患者様に対し追加の検査などが施行されることはなく、治療以外の費用が発生することもないため一切のご負担をお掛けすることはありません。

各種解析をする際には、氏名などを含めた個人情報は匿名化し、第三者に漏れることの無いよう十分に配慮しております。

また、得られた研究結果については、学会や医学雑誌に発表させて頂くことがありますが、患者様の名前や住所等の個人情報は一切公開されることはありません。患者様の個人情報およびプライバシーの保護には十分に配慮させて頂きます。

本研究の検査内容、目的などが記載された研究計画書については、患者様が希望された場合、所定の手続きのうえ開示させて頂きます。（詳細については、主治医にご相談下さい）

また、データを利用することに同意を頂けない場合には、下記の問い合わせ先もしくは主治医までご連絡いただくことでデータを削除させて頂きます。

たとえ同意頂けない場合であっても、最善の治療を施し患者様が不利益を受けることは決してありません。但し、すでに研究結果が論文などで公表されている場合には、その結果を訂正できませんのでご了承下さい。

